R2970

ENTER
POWER
HDD
LAN
REC
PLAY
MENU / II
BACKUP /ESC
REC
PLAY
T-SH
ZOOM
PIP
Mute

Ver1.0

目次

第１章　はじめに 4
1-1　パッケージ内容 4
1-2　注意事項 4
第２章　パネル 5
2-1　フロントパネル 5
2-2　4チャンネル背面接続パネル 6
第３章　ライブモード・再生モード・PTZモード 7
3-1　ライブモード 7
3-2　再生モード 9
3-3　PTZモード 10
第４章　メインメニュー設定 13
4-1　録画設定 14
4-1.1　画質とコマ数設定 14
4-2　イベント設定 16
4-2.1　モーション設定 16
4-2.1.1　マウスでマスクゾーン設定 16
4-2.2　センサー設定 17
4-3　スケジュール設定 18
4-3.1　スケジュール録画設定 18
4-3.2　祝日設定 19
4-4　カメラ設定 19
4-5　アカウント設定 20
4-5.1　権限の設定 20
4-5.2　ユーザー画像の設定 21
4-6　ネットワーク設定方法 21
4-6.1.1　DHCP 22
4-6.1.2　LAN 22
4-6.1.3　ADSL 23
4-6.2　HTTP設定 23
4-6.3　DDNS設定 24
4-6.4　メール設定 24
4-7　PTZ & RS485設定 25
4-8　システム設定 26
4-8.1　ディスプレイ設定 27

4-8.2 日時設定 27
4-8.2.1 日時/時間変更 28
4-8.2.2 タイムゾーン設定 28
4-8.2.3 インターネット時刻設定 29
4-8.3 装置設定 29
4-8.4 スポットモニター 30
4-9 ユーティリティ設定 31
4-10 診断 32
第５章 バックアップと検索 33
5-1 バックアップ設定 33
5-2 検索設定 34
5-2.1 イベント検索 34
5-2.1.1 イベントの検索基準設定 35
5-2.2 日付検索（タイムサーチ） 35
第６章 専用ソフトウェアの使用方法 36
1 IEでの遠隔モニタリング 38
2 DVRemote Desktopのダウンロード 39
3 バックアップデータの再生 41
第７章 スペック一覧 42
付録 IE ActiveX コントロールのインストール 44

第１章　はじめに

1-1　パッケージ内容

DVR　本体

CD（取扱説明書含む）

IR コントローラー

乾電池 x2

ＡＣアダプター

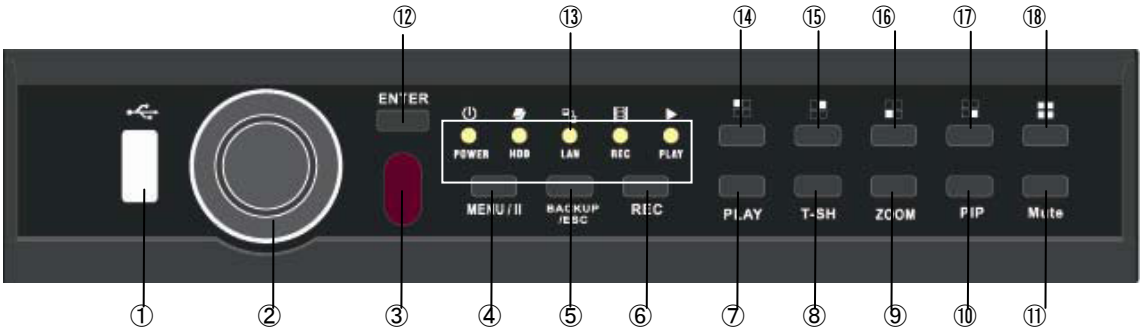
マウス

1-2　注意事項

本機を動かす場合には、安全に配慮して電源プラグを抜いてから行って下さい。
本機を使用する前に電源コードやケーブル類が
すべて接続されているかご確認下さい。
干渉を避けるために、本機の中に不要な部品を残さないで下さい。
粉塵･温度･湿度といった環境の急激な変化は避けて下さい。
5℃～40℃の環境で本機を使用して下さい。
平らな場所に本機を置いて下さい。また発熱する器具等から遠ざけて下さい。
本機のファンや通風口を遮蔽しないで下さい。
本機を直射日光に当てないで下さい。
接続や設定に不安な方は、技術者に相談して下さい。
本機や電源装置に問題があるとお考えの場合は、
技術者や販売業者にご相談下さい。

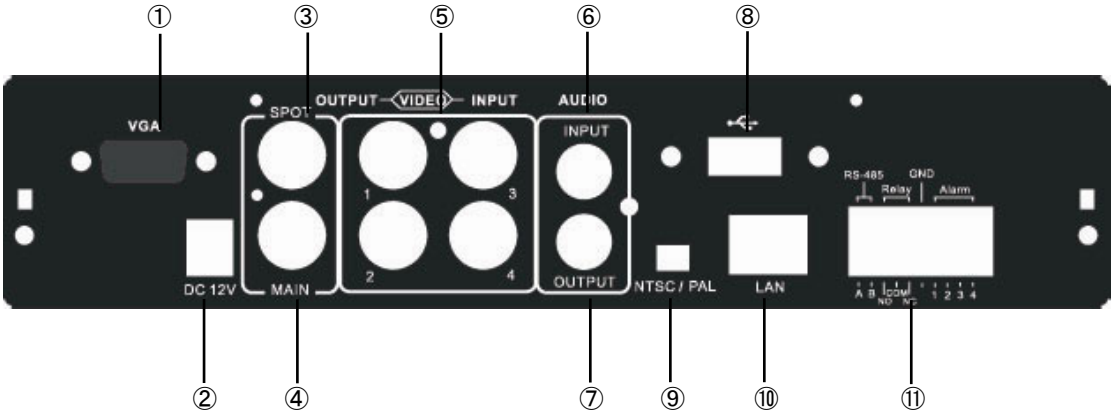
第２章　パネル

2-1　フロントパネル



① USB 2.0	ＵＳＢ入力　（バックアップ専用）
② ▼ / ■	設定モード：カーソルを下方向に移動 再生モード：再生停止
▲ / SLOW	設定モード：カーソルを上方向に移動 再生モード：スロー再生
▶ / ▶▶	設定モード：数値を増やす 再生モード：再生
◀ / ◀◀	設定モード：数値を減らす 再生モード：巻き戻し再生
③ IR Sensor	コントローラー受信部
④ MENU	ライブモード：ディスプレイメニュー表示 再生モード　：一時停止
⑤ BACKUP/ESC	ライブモード：バックアップメニュー表示 再生モード　：前のページに戻る
⑥ REC	録画開始　/　停止
⑦ PLAY	通常再生
⑧ T-SRH	検索メニュー表示
⑨ ZOOM	ライブモード・再生モード：チャンネルの表示拡大
⑩ PIP	ライブモード：画像形式での静止画再生
⑪ MUTE	消音切替
⑫ ENTER	設定モード：値の決定 再生モード：全画面・４分割の画面切替
⑬ LED Display (左から右)	Power: 電源ＯＮ状態 HDD:　ＨＤＤアクセス状態 LAN:　インターネット接続状態 （赤色時）遠隔ユーザーログイン状態 REC:　録画中 PLAY: 再生中
⑭	ライブモード・再生モード：ＣＨ１切替
⑮	ライブモード・再生モード：ＣＨ２切替
⑯	ライブモード・再生モード：ＣＨ３切替
⑰	ライブモード・再生モード：ＣＨ４切替
⑱	ライブモード・再生モード：４分割画面切替

2-2　4チャンネル背面接続パネル



① VGA	VGA端子
② DC 12V	DC12V入力端子
③ SPOT monitor	設置カメラの順序どおりにイメージ を全画面で表示するBNCポート
④ MAIN monitor	メインモニター用BNC端子
⑤ VIDEO IN	カメラのBNC端子
⑥ AUDIO IN	音声信号用RCA入力端子
⑦ AUDIO OUT	音声信号用RCA出力端子
⑧ USB	USB端子(USBマウス用)
⑨ NTSC／PAL	NTSC/PAL形式切替ボタン
⑩ LAN	ネットワーク端子
⑪ EXTERNAL I/O	外部I/O端子

第３章　ライブモード･再生モード･PTZモード

IRリモコンとマウス操作は、各モードごとに異なります。この章では、ライブモード、再生モード、ＰＴＺモードについて説明します。

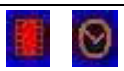
3-1　ライブモード

ライブモードでは、全チャンネルモニター、音声再生、またそれに関連する操作を行うことが出来ます。

表 3-1.1 ライブモード時のリモコン操作

ボタン	説明
REC	録画開始 / 停止
PLAY	最新の録画データの再生
LOCK	キーパッド機能の表示 / 非表示
1,2,3,4	全画面表示するチャンネルの選択
FREEZE	フリーズ機能を表示 / 非表示
	４分割切替
ENTER/MODE	全画面 / ４分割の切替
MENU	設定メニューの表示 / 非表示
BK-UP/ESC	バックアップメニューの表示 / 非表示
SRH	検索メニューの表示 / 非表示
MUTE	１系統の音声出力 / 無音切替
STATUS	ステータスの表示/非表示
OSD	ディスプレイ表示/非表示
Zoom/Zoom -	ダブルスクリーンの表示 / 非表示 各チャンネルをクリックして選択
PIP/Zoom ＋	小画面の表示 / 非表示 各チャンネル名をクリックして他チャンネルに切替
PTZ	PTZ コントロール
AUTO	AUTO モードでは、全表示可能チャンネルを全画面で順に再生

表 3-1.3　ライブモード時モニター上のアイコン

アイコン	説明	アイコン	説明
	録画中		LAN ケーブル接続状態
1~4	音声再生中		フィルムアイコン：通常録画 時計アイコン：スケジュール管理
	消音		カメラ連続切替オン
	モーションモード	2X	２倍ズーム　オン
	センサーモード		一時停止中
	ビデオロス検知モード		ロック中 (本体前面パネルの操作を 不可にできます。)
	USB 接続状態		PTZコントロール　オン
	DVD 録画状態		
	HDD使用状況（図は99%使用中、1%が空き状態）		
	現在日時表示（画面右下に表示）		

アイコン	説明
	画質（High/Low）
	フルスクリーン
	録画
	スナップショット
	録画、静止画撮影の設定
	ショートカットツールバーの表示 / 非表示

3-2　再生モード

ライブモード時、「ＰＬＡＹ」を押すと再生モードに切り替わります。 アイコンがモニター中央に現れ、操作パネルが右下隅に現れます。
マウス操作パネルをドラッグして、お好みの位置に変更することが出来ます。

表 3-2.1　再生モード時のリモコン操作

ボタン	説明
ENTER / MODE	全画面・４分割切替
MENU / ▮▮	一時停止/再生
PLAY	通常再生
▲ / SLOW	低倍速再生。1/2、1/4、1/8、1/16の再生速度がボタンを押すごとに切り替わります。再生速度はモニターの画面中央下に表示されます。
◀◀ / ◀	巻戻し：ボタンを押すごとに巻戻し速度が上がります。 巻き戻し速度：2、4、8、16、32、64倍速
▶▶ / ▶	早送り：ボタンを押すごとに早送り速度が上がります。 早送り速度：2、4、8、16、32、64倍速
▼ / ■	停止

表 3-2.2 再生モード時のマウス操作

アイコン	**説明**
	◀◀ /◀ 巻戻し
	▶▶ /▶ 早送り
	再生 / 一時停止
	▲ / SLOW 、低速再生
	▼ /■ 停止
	１チャンネルずつのスナップショット再生
	全画面表示
	４分割表示
	拡大表示

3-3 PTZモード

ライブモード時、「PTZ」ボタンを押すと、PTZモードになります。

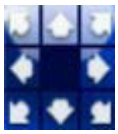
アイコンが画面左上に現れます。コントロールパネルは右下隅に現れます。

表 3-3.1　PTZモードでの遠隔コントロール機能

ボタン	説明
▲ / SLOW	PTZ アップ
▼ / ■	PTZ ダウン
◀◀ / ◀	PTZ 左
▶▶ / ▶	PTZ 右
ZOOM +	PTZ 拡大
ZOOM -	PTZ 縮小
FOCUS +	PTZ フォーカスイン
FOCUS -	PTZ フォーカスアウト
IRIS +	PTZ 絞りを開放
IRIS -	PTZ 絞りを収縮
TOUR	PTZ プリセットツアーを有効にする *
PRESET+ Number	プリセット位置の設定 はじめに「PRESET」キーを押し、2桁の番号を押します。DVR は空いているプリセット番号で、現在のPTZ カメラの位置を記憶します。
PLAY+ Number	プリセット位置に移動します。 はじめに「PLAY」キーを押し、2 桁の番号を押します。PTZ は選択されたプリセット番号の位置に移動します。
PIP	ラインスキャンの開始位置に、現在のPTZカメラの位置を設定します。
FREEZE	自動ラインスキャンの有効化。 *
ZOOM	ラインスキャンの終了位置に、現在のPTZ ロケーションを設定します。*

＊ 他社製のPTZプロトコル製品では、100%の動作は保証できません。いくつかの機能が使えないといったトラブルが考えられますので、予めご了承ください。

表 3-3.2 PTZモード時マウス操作

アイコン	説明
	PTZ モードを終了し、ライブモードに戻る
	プリセット番号（0 ～ 255）
	次のプリセット番号に移動する
	任意のプリセット番号で、現在の PTZ カメラの位置を設定する
	「TOUR 」プリセットツアー（ローテーション表示）の起動 *
	「PIP」現在の PTZ カメラの位置をラインスキャンの開始位置に設定 *
	「FREEZE 」ラインスキャンの有効化 *
	「ZOOM」現在の PTZ カメラの位置をラインスキャンの終了位置に設定 *
	360 度カメラ移動
	PTZ 拡大、縮小
	PTZ フォーカスイン、アウト
	PTZ 絞り開放、収縮
以下の機能は、PTZ カメラメーカーのサポートが必要です。お手持ちの PTZカメラの詳細をお調べください。	
	AUX 1～8、「AUTO」キー + 番号キー「1～8」
	「Backup」カスタマイズ機能

＊他社製のPTZプロトコル製品は、100%動作しないこともあります。そのため、いくつかの機能は使えない場合もございますので、予めご了承ください。

第４章　メインメニュー設定

メインメニューを開き、DVRの設定をするためには、ログインアカウントとパスワードが必要です。初期の管理者パスワードは

123456

です。他のログインユーザーの設定は、「Account Setup」にチェックを入れてください。

表 4-0.1 バーチャルキーボードの定義

項目	説明
⇧	大文字、小文字　切替
.?123 / ABC	数字、文字　モード切替
Esc	設定の中止、ログインアカウントの再選択
⌫	一文字戻る
↵	パスワード認証、認証が済むと設定メニューに入ります。
	スペース（空白）キー

表4-0.2 セットアップメニューのリモコン機能

項目	説明
◄ ►	1項目の別オプションの切替
▲ ▼	別項目への切替
MENU	設定を保存し、ライブモードに戻る
ESC	保存せずに前のメニューに戻る
ENTER	メニューを開く バーチャルキーボードを開く

4-1　録画設定

項目	説明
HDDが容量一杯になった録画時間を	HDDが一杯になった時の動作を選択します。 停止：録画停止 上書き：HDDの最も古いデータを上書きして、録画を続行します。
画質とコマ数設定	通常録画時、またはイベント録画時の画質とフレームレートを設定します。
OSD表示位置設定　X	OSD表示位置Ｘ軸調整
OSD表示位置設定　Y	OSD表示位置Ｙ軸調整
OSD表示位置設定	OSD表示位置調整
ローテーション録画 (時間)	録画時間を設定した後チェックボックスにチェックを入れると、その時間ごとに上書きがされます。「1～3000」時間

4-1.1 画質とコマ数設定

項目	説明
ノーマル表示/イベント表示	録画モード（ノーマル録画・イベント録画）を選択 ノーマル：常時録画モード イベント：モーション、センサー録画モード
解像度	録画解像度を選択 NTSC:360x240, 720x240, 720x480
Record Type	画質とFPSの設定
No.	チャンネル録画の選択チェックボックス
画質	画質選択 ：最低 /低/ 標準 /高 /最高
コマ数	コマ数の選択
自動配分	チャンネル毎の利用可能最大コマ数の割り当てを行うことが出来ます。

4-2　イベント設定

項目	説明
モーション設定	モーションの設定
センサー設定	センサーの設定

4-2.1　モーション設定

項目	説明
アラーム持続時間(秒)	1～60秒で設定可能
モーションポップアップ	全チャンネルのポップアップ機能設定。 ライブモード時、動きが検知されると、検知されたチャンネルの画像が全画面でポップアップ表示されます。
1～4	各チャンネルを個別に設定
感度	マウスでバーを操作するか、◀ ▶ を押すと、各チャンネル1～10の感度を設定できます。最低値から最高値まで、お好みで設定してください。
モーションエリア設定	モーション検知エリアの設定を開きます。 縦14×横20の検知エリアを設定できます。リモコンの「ESC」ボタンを押すと下記のサブメニューが現れます。

4-2.1.1　マウスでマスクゾーン設定

動作検知は、グリッドに分割されます。デフォルトでは透明が検知エリアです。赤色では検知しない部分となります。

項目	説明
全ての領域を感知オン	画面全体を感知エリアにします。
全ての領域を感知オフ	画面全体を感知エリアから除外します。
操作を続行する	設定を継続します。
保存して終了	設定を保存して終了します。
保存しないで終了	設定を保存せずに終了します。

4-2.2　センサー設定

項目	説明
センサーポップアップ	全チャンネルのポップアップ機能の表示、非表示のチェックボックスです。
	ライブモードでセンサーを感知すると、感知したチャンネルの画像が全画面で表示されます。
全てオフ	センサーを全て解除
全てN.O	センサー全ての極性をN.Oにする
全てN.C	センサー全ての極性をN.Cにする
極性	▼をクリックして、センサーの極性を「NO」「NC」で選択することができます。また「オフ」を押すことで、チャンネルごとにセンサーをオフにすることもできます。 N.O極性：センサーは起動しません。接続されたとき、センサーが起動します。 N.C極性：センサーは常に起動しています。接続されたときセンサーが切れます。 オフ：センサーオフ

4-3　スケジュール設定

手動で録画を開始する場合以外は、録画時間を週ごとに設定し、通常録画、モーション、センサーの各録画タイプを選択することが出来ます。

項目	説明
ページ	各ページ10 個のスケジュールを設定できます。 全体で5ページまでです。
祝日設定	最大50 日までの休日を設定できます。週末を設定することも出来ます。
ノーマル /　モーション / センサー	通常録画 / モーション / センサー

4-3.1　スケジュール録画設定

左側の時間をクリックすると設定メニューがあらわれます。

4-3.2　祝日設定

祝日の設定をすることができます。

4-4　カメラ設定

項目	説明
1～4	各チャンネルを個別に設定できます。
マスク	ライブモード時のマスク機能の表示/非表示
シャープネス、明度、輝度、彩度（U）、彩度（V）、色相	バーをドラッグするか、◀ ▶ を押して1～255の値でお使いのカメラのシャープネス、明度、輝度、彩度、色相を調整します。初期値は1です。
名	各チャンネル名を設定します。
音量調整	ライブモード・録音モード時のCH1の音量を調整します。

4-5　アカウント設定

アカウント設定では、ネットワーク上の各DVRユーザーで個別に権限設定をすることができます。ファームウェアのアップグレード後、同じパスワードがデフォルトとして残っていますが、新しい設定をした際に８桁のパスワードを求められます。

項目	説明
No.	チェックして、ユーザーアカウントを有効にします。
ユーザー名	ユーザー名を設定します。
パスワード	各ユーザーのパスワードを設定します。 パスワードは8桁で、文字（大文字、小文字を区別）と数字を必ず混ぜて設定する必要があります。文字は大文字、小文字をどちらも使用してください。
権限	各ユーザーの権限設定をします。
Adminパスワード変更	管理者パスワードを変更します。
画像変更	ユーザー画像を変更します。

4-5.1　権限の設定

アカウント設定では、個々のユーザー（最大４ユーザー）にセットアップメニューへのアクセス、ネットワーク操作、PTZ機能、再生、ユーティリティ、バックアップ、パスワード有効期限満了、特定チャンネルのマスク設定など、様々な権限を設定することができます。

4-6　ネットワーク設定

項目	説明
接続タイプ	ネットワーク接続の接続モードです。（DHCP、LAN、ADSL）
HTTP設定	HTTPの設定を開きます。
DDNS設定	DDNSの設定を開きます。
メール設定	メールの設定を開きます。

4-6.1　ネットワーク設定

ネットワークに接続する方法は次の３種類です。

4-6.1.1 DHCP

「DHCP」選択時、IPアドレスはDHCPサーバーから自動的に割り当てられます。

4-6.1.2　LAN

「DHCP」サーバーを使用せずにLANに接続する場合は、以下のような個別の設定が必要です。

項目	説明
IPアドレス	ネットワーク管理者から提供されたプライベートIPアドレスを入力します。
サブネットマスク	ネットワーク管理者から提供されたサブネットマスクアドレスを入力します。
ゲートウェイ	ネットワーク管理者から提供されたゲートウェイアドレスを入力します。
DNS	ネットワーク管理者から提供されたDNSアドレスを入力します。

4-6.1.3　ADSL

DVRをダイレクトにADSL接続する場合は、
以下の情報が必要です。

項目	説明
ユーザー名	ISPから提供されたユーザー名
パスワード	ISPから提供されたパスワード

4-6.2　HTTP設定

項目	説明
HTTPサーバーを使用する	HTTP機能が有効になっていれば、ユーザーはネットワークを通じて遠隔からのアクセスが可能です。
ポート	1~65000 までの有効なポート番号を入力します。 デフォルト値は80 です。
自動配分	アクセス可能なfps の最大値を各チャンネルに割り当てます。
No.	チャンネル番号
画質	画質を設定します。 最低 / 低 / 標準 / 高 / 最高
コマ数	コマ数を設定します。

4-6.3　DDNS設定

項目	説明
DDNSを使用する	DDNS機能の有効 / 無効
DDNSサーバー	DDNSサーバーを選択します。
ホスト名	登録が完了したDDNSサーバーを入力します。
ユーザー名	ユーザー名を入力
パスワード	パスワードを入力

4-6.4　メール設定

ビデオロス、モーション、センサーのイベント発生時、電子メールが指定のメールアカウントに自動的に送信されます。

項目	説明
メールを通知する	メール通知機能の有効 / 無効
SMTPサーバー	SMTPサーバー名の設定（ユーザー毎に切替）
ユーザー名	メールユーザー（アカウント）名の入力
パスワード	メールパスワードの入力
送信元アドレス	送信元メールアドレスを入力
通知アドレス送信先設定	それぞれ10個までの受信先メールアドレスを入力
トリガーイベント	ビデオロス、モーション、センサーの状況など、メール通知を行うイベントを選択します。

4-7　PTZ & RS485設定

DVRでPTZカメラのコントロールをすることができます。PTZ機能を有効にし、485ケーブルをDVRのRE-485ポートに接続してください。

項目	説明
PTZを使用する	各チャンネルのPTZ機能の有効/無効
プロトコル	PTZカメラのプロトコル設定をします。サポートされるプロトコルは、PELCO-P、KND、LI-LIN、SAMSUNG、LG、AVTECHです。
PTZ ID	◀ ▶ を押すかクリックして、PTZ IDを設定します。 1～64でiD値が変化します。
通信速度	PTZの通信速度を2400、4800、9600、19200から選びます。
RS-485 ID	RS-485のIDを1～64から選びます。
RS-485通信速度	RS-485のボーレートを2400、4800、9600、19200から選びます。
キーボード	キーボードの選択（Li-Lin）

4-8　システム設定

項目	説明
DVR名	遠隔操作時、DVR の名前がユーザーログイン時に表示されます。
DVR位置	遠隔操作時、DVR の場所がユーザーログイン時に表示されます。
言語	▼をクリックするか押して、OSD の言語を英語、繁体中国語、簡体中国語、日本語、ギリシャ文字、ポルトガル語から選択できます。 出荷時のデフォルトは日本語です。
オートロック	初期のIDは0です。複数台のDVRをご購入の場合、DVRは1～4の番号が割り振られません。 例えば、標準遠隔コントロールはDVR番号3では操作できません。 1～4の遠隔操作使用時は応答のみです。
ディスプレイ設定	ディスプレイ設定を開きます。
日付/時間設定	日時設定を開きます。
装置設定	ブザーとリレー設定をします。
スポットモニター設定	スポットの設定をします。

4-8.1　ディスプレイ設定

項目	説明
オートシーケンス時間	画面切替モード時のチャンネル間の間隔の継続時間を設定します。 1～999秒まで設定可能
OSD表示	OSDモニターのON/OFF
DVR状態表示	DVRイラストと録画状態のON/OFF
日付/時間表示	日時表示のON/OFF
チャンネル名表示	チャンネル表示のON/OFF
モニター	CRTモニター時のちらつき防止
境界線色	ライブモード時の再生カラー設定(RGB　)

4-8.2　日時設定

項目	説明
時間(左)	12/24時間
日付(中)	MM-DD-YY/DD-MM-YY/YY-MM-DD
時間(右)	モニター上の日時表示位置の選択
日時/時間変更	DVR 日時の変更
タイムゾーン設定	GMT の設定と日中保存時間
インターネット時刻設定	インターネットサーバーとの自動同期させて、常に正確な時刻をDVRに反映させます。

4-8.2.1　日時/時間変更

日時と時間を手動で設定します。

4-8.2.2　タイムゾーン設定

タイムゾーンと日中録画機能の設定をします。

項目	説明
タイムゾーン選択	GMT －13～ +13の間でGMT値を修正します。
サマータイム	サマータイムのON/OFF

4-8.2.3　インターネット時刻設定

インターネットを使って、DVRの時間を同期させることができます。

項目	説明
自動的にインターネットサーバーと同期する	自動同期の機能を有効にします。 このオプションを選択することにより、DVRは再起動の度に、または起動後24時間毎に、自動で時刻同期を行います。
今すぐ更新	今すぐ日時をインターネットサーバーと同期させる事ができます。

4-8.3　装置設定

項目	説明
リモコン操作音	リモコン操作音のオン/オフ
ブザー	HDDエラー、ビデオロス、モーション、センサーのイベントが起こった際のアラームの有効 / 無効 (発報音の継続時間は指定できません。) ※1
リレー	HDDエラー、ビデオロス、モーション、センサーのイベントが起こった際のリレーアウトブロックに信号が送られるかどうか

※1 ： HDDエラー発生時のブザー機能は当機には搭載されておりません。

4-8.4　スポットモニター出力

DVRはメインビデオ出力、スポットビデオ出力の２つのモードのビデオ出力があります。
スポット設定は、スポットモードでのチャンネルの同期の順番をコントロールします。ユーザーはあらゆるチャンネルをスポットモードでモニターすることができます。
通常、モニターへの映像出力は「MAIN」をお使いください。

項目	説明
SPOT MODE	MANUAL: 手動でチャンネルを選択 SEQUENCE: 全チャンネルを順番に表示 EVENT: イベント発生時にチャンネルを表示
オートシーケンス時間	スポットモード時のチャンネル同士の間隔の継続時間
ビデオロスチャンネルを表示しない	ビデオ信号のないチャンネルの非表示設定

4-9　ユーティリティ設定

項目	説明
HDD初期化	ハードディスク初期化メニューを開きます。このメニューを開く前に録画を停止してください。メニューを開くと、DVRに設定されているHDDの全てのデータ（型番、容量）を見ることが出来ます。初期化したいHDDをチェックし、「Select」を押してください。「succeed」と表示されたら、ハードディスクの初期化は成功です。 **※初期化するとハードディスク内のデータはすべて削除されますのでご注意下さい。**
USB初期化	USBの全データを初期化します。「USB initialization 」を開き「Yes」を押すと、USBの全データが消去されます。「succeed」と表示されたらUSBの初期化は完了です。
システムリカバリー	システムを初期設定値に戻します。
システムイベントをリセット	DVRの全ての保存済みイベントを消去します。
設定ファイルをUSBメモリに書き出し	設定ファイルをUSBメモリにコピーします。USBメモリには「sdvr.config」というファイル名が付けられます。
設定ファイルをUSBメモリから読み出し	設定ファイルをUSBメモリから読み込みます。
バージョンアップ	USBを通して、DVRをアップグレードします。 アップグレードする前に、録画を停止し、設定のバックアップをとってください。 アップグレードが完了するとシステムは自動的に再起動します。

注意：アップグレード中に電源を切ったり、USBデバイスを抜いたりしないでください。
　　ファームウェアのアップデートが不完全に終了したり、DVRの故障の原因になる恐れがあります。

4-10　診断

項目		説明
ファームウェアのバージョン		DVR の現在のファームウェアのバージョンです
IPアドレス		DVRのIPアドレス。ネットワークに接続していない場合は「NETWORK DISCONNECTED」と表示されます。
MACアドレス		DVRのMACアドレス
HDDの状態	No.	HDD 番号
	容量	HDD 容量
	使用率	HDD の使用率
	状態	稼働中:HDD 録画中 GOOD/BAD：HDDの状態。正常/ 異常を知らせる。
	フォーマット時	最後にHDDを初期化した日時

第５章　バックアップと検索

5-1　バックアップ設定

特定の時間枠の録画データをバックアップすることが出来ます。USBメモリスティックをご用意ください。
録画データは、遠隔アクセスソフト「DVRemove Desktop.exe」を通じてPCにバックアップされ、割り当てられた場所に保存します。

バックアップファイルの形式は、「DVRemone Desktop.exe」で再生可能なIRFファイル形式です。

バックアップ手順
1.用意したメモリスティックを全面パネルに挿し込む（録画機背面はマウス専用です）
2.モニター画面上にUSBのアイコンが表示されます。
（表示されない場合は不相性の可能性があります。別のUSBメモリスティックをご用意ください。
3.全面パネルのBACK-UPボタンを押します。
4.開始時間と終了時間を入れて“開始“を押します。

※最初は数分単位でのバックアップをおすすめします。

項目	説明
開始時間	バックアップファイルの開始時間
終了時間	バックアップファイルの終了時間
バックアップ先	バックアップ先を選択します。PC/USB
空き容量	バックアップ先の空き容量
リフレッシュ	バックアップ先の空き容量を再計算
必要な容量	バックアップファイルのサイズ
計算	バックアップファイルのサイズを計算
開始	バックアップ操作の開始 バックアップ操作の前にバックアップファイルの計算が行われます。

注意：操作実行中にDVRの電源を切ったり、USBデバイスを抜いたりしないでください。
DVRの故障の原因になる恐れがあります。

5-2　検索設定

項目	説明
イベント検索	イベントを検索
日付検索	日付を検索

5-2.1　イベント検索

DVRは時間、チャンネル情報を含むイベントのタイプによって自動的に録画できます。
イベントによる録画データが存在するとき、黄色い矢印 ▶ が左側の時間情報に表示されます。
カーソルをラインの下に向け、「Enter」を押すか、録画データ再生中に左クリックして「Enter」を押してください。

イベント録画は、ハードディスクがインストールされていない、または録画機能が有効でない場合にも引き起こされますが、録画したものを見ることは出来ません。

項目	説明	
検索基準設定	イベント検索の基準を設定	
ページ	イベントのページを切替	
日付/時間	イベント発生時の日付/時間	
イベントタイプ	モーション	動体検知
	センサー	センサー
	ビデオロス	ビデオ切断
	リモートログイン	ユーザーログイン
	リモートログオフ	ユーザーログアウト
	電源ON	DVRの電源オン
	HDD容量オーバー	HDD空き容量なし
	HDDにエラー発生	HDDのエラー検出
情報	チャンネルのイベント発生時、またはユーザーログイン状態	

5-2.1.1　イベントの検索基準設定

イベントの量は増加していきますので、基準を設定し、並べ替えを容易にすることが出来ます。
イベントの「開始時間」「終了時間」を設定し、検索結果は特定した期間の間に限定されます。
チェックされたイベントとチャンネルのみイベント検索で並べ替えることが出来ます。

5-2.2　日付検索（タイムサーチ）

日付検索は録画データの特定の時間を検索します。
全面パネルの「T-SH」を押してください。
録画したデータがある日付には、赤い四角で囲まれます。選んだ日付の再生が始まります。マウスを使い、「年」と「月」のボックスをクリックすると、カレンダーが切り替わります。

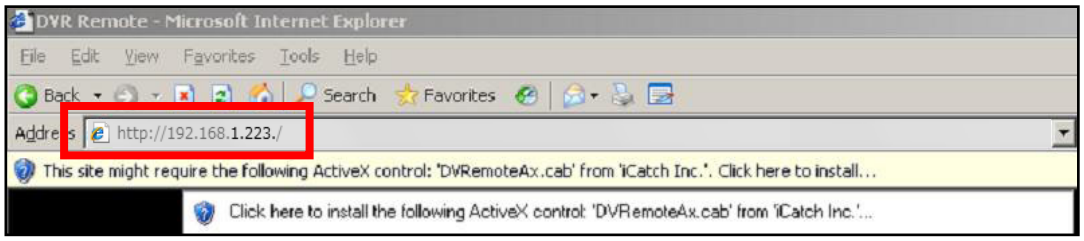
表示したい日付をクリックして、録画時間を表示します。
時間（時、分、秒）を変更するか、タイムバーから特定の時間をマウスでクリックして「確認」を押し、選択した録画データの再生を開始します。

第６章　専用ソフトウェアの使用方法

この章では、遠隔モニタリングを行うためのソフトウェアの使用方法と、バックアップデータ再生のための
ソフトウェアについて説明します。
以下の手順で、3つのソフトウェアをご利用いただけます。

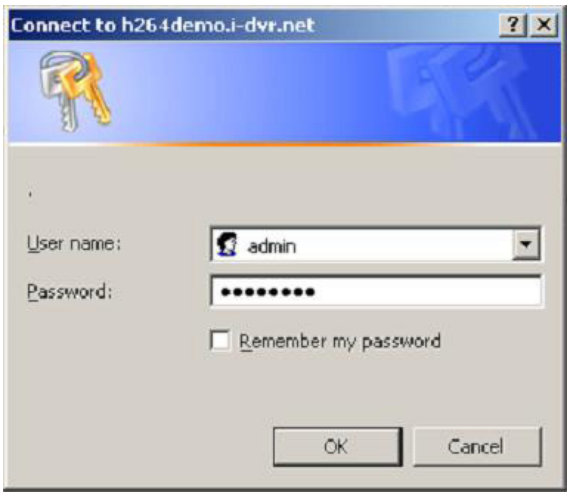
まず最初にDVRとルーターをLANケーブルに繋ぎ、ローカル設定を行ってください。P22で設定した内容
をご参照の上、設定を行ってください。

①ブラウザーのアドレスバーにDVRのIPアドレスを入力します。
下図のアドレスはあくまでイメージです、実際のアドレスはDVRのサイトに従って入力してください。



②下記のようなポップアップウィンドウが現れます。ユーザー名とパスワードを入力してお使いください。
デフォルトのユーザー名、パスワードは、

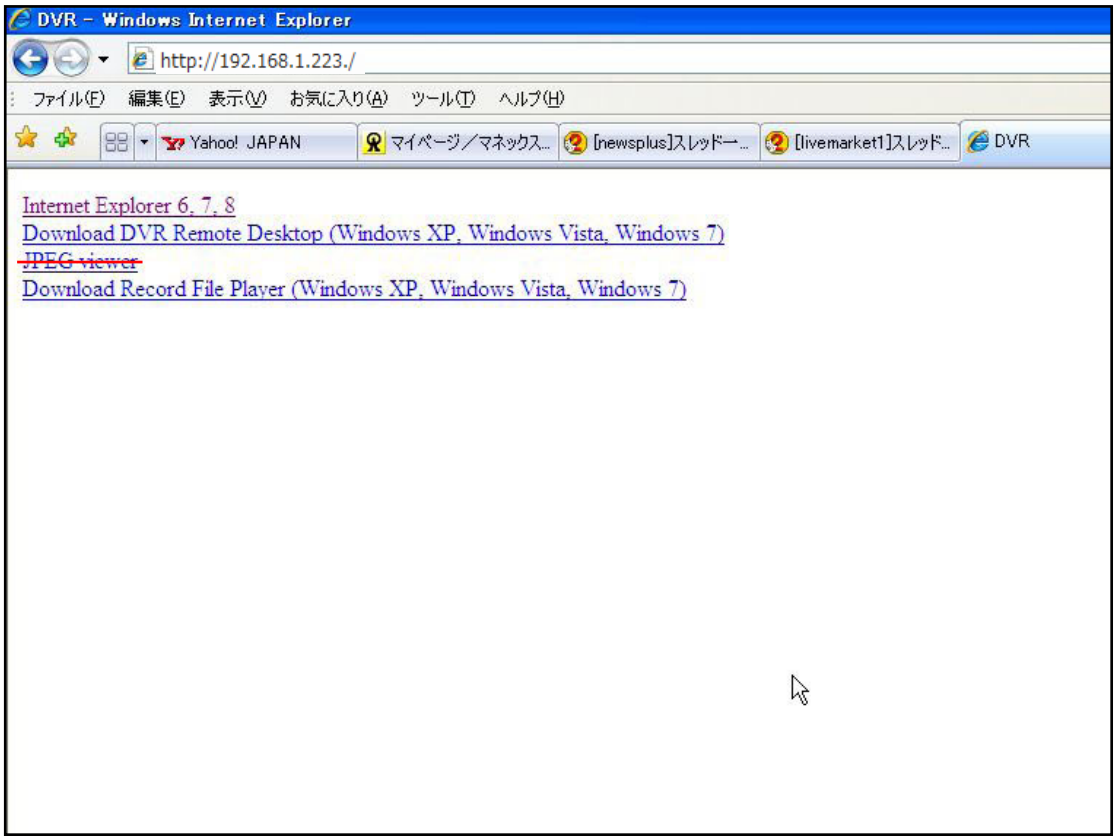
ユーザー名：admin
パスワード：123456
です。ユーザーアカウント、パスワードの設定に関しては、「4-5 アカウント設定」をご参照ください。



■セキュリティソフト「Norton」などをお使いの場合、ハイレベルのリスクを検出されることがあります。
一時的にセキュリティソフトを切り、ダウンロードしてください。

※外部からの遠隔監視をされる場合は、ネットワークに必要な環境や専門の知識が必要です。

③下図の4つのリンクが画面に表示されます。



1 Internet Explorer 6, 7 , 8
ブラウザ上で遠隔監視することができる、IEのソフトウェアです。

2 Download DVR Remote Desktop(Windows XP , Windows Vista ,Windows 7)
当DVRを遠隔監視するための専用ビューワーソフトです。

× JPEG Viewer
当機ではご利用になれません。

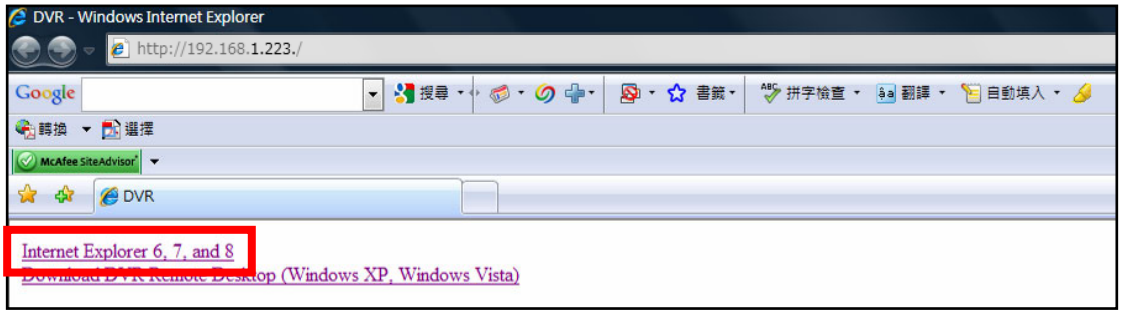
3 Download Record File Player (Windows XP , Windows Vista ,Windows 7)
バックアップデータの再生に必要なソフトウェアです。
USBメモリスティックでバックアップしたデータを再生する際に使用します。

通常は付属のCDからインストールしてください。
また、ブラウザ上のこの画面からダウンロードしてインストールすることもできます。

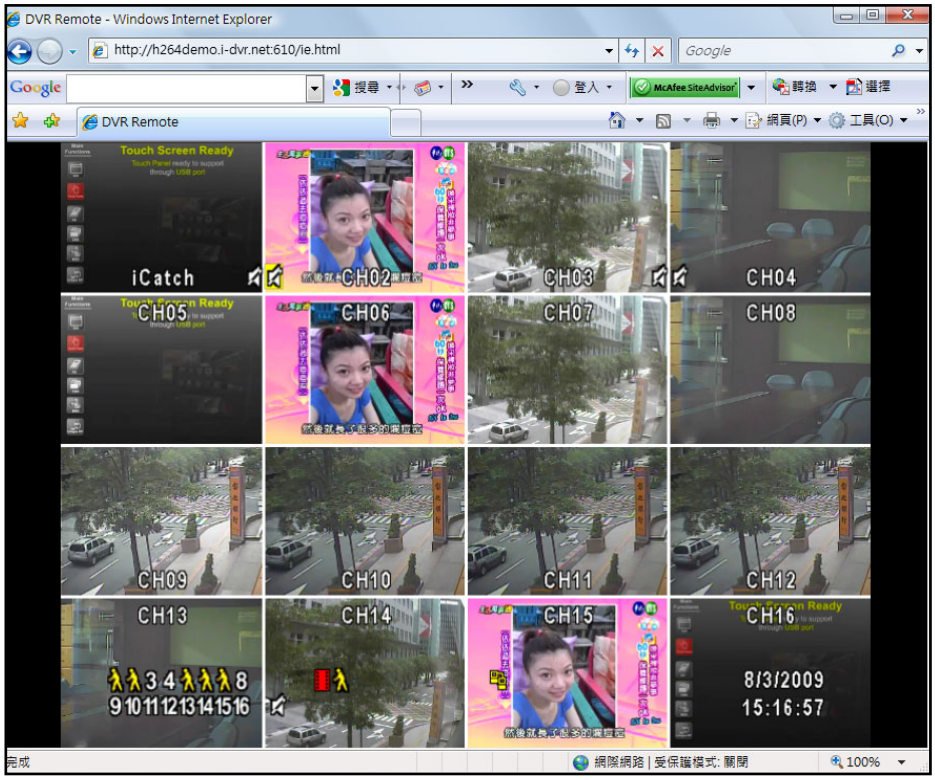
1 IEでの遠隔モニタリング

Intennet Explorer上で遠隔モニタリングを行うことが出来ます。

① 「Internet Exploler 6,7 and 8」のリンクをクリックします。


DVR - Windows Internet Explorer
http://192.168.1.223./
DVR
Internet Explorer 6, 7, and 8
Download DVR Remote Desktop (Windows XP, Windows Vista)

② DVRイメージが現れます。

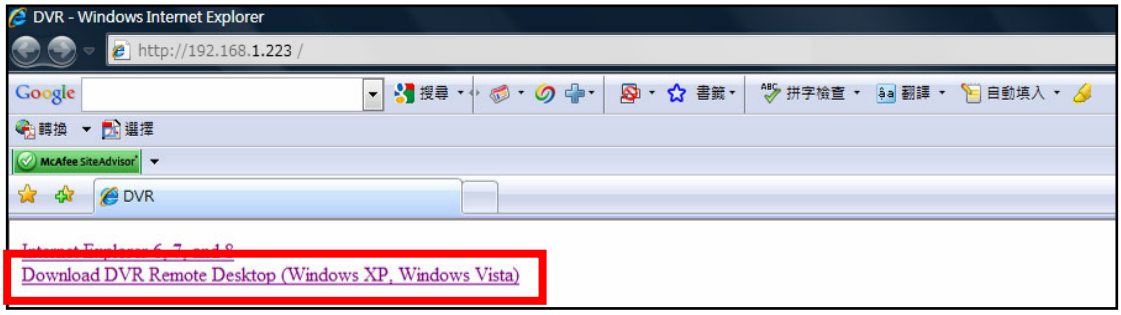


※実際は4チャンネルのみです。

2 DVR Remote Desktopのダウンロード

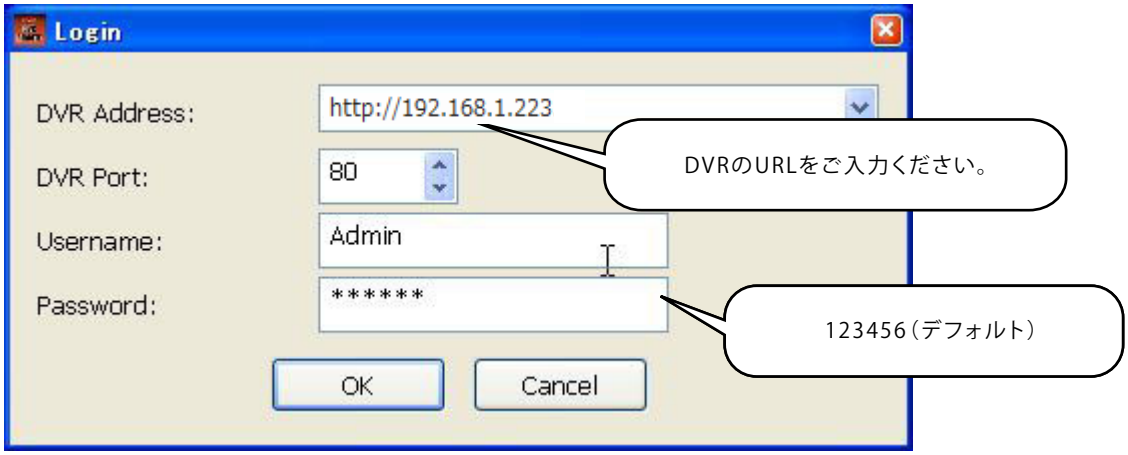
「DVR Remote Desktop」は、当DVRを遠隔監視するための専用ビューワーソフトです。お使いのパソコンにインストールして、遠隔モニタリングを行うことができます。

①「Download DVR Remote Desktop (Windows XP , Windows Vista)」をクリックします。



②「実行（R）」か「保存（S）」を押してください。

③「実行」選択時、ログインウィンドウが現れます。
DVRアドレス、ポート、ユーザー名、パスワードの各DVRのログイン情報を入力してください。
または、「記録ファイルの再生」を選択し、PC内のバックアップファイルを開いてください。



④ DVRへのログインは完了です。

「DVR Remote Desktop」は、AP Softwareが提供する、遠隔ユーザー機能拡張ソフトです。
ソフトを使用するための必須スペックは以下の通りです。

CPU　　：Intel Pentium以上
OS　　：Microsoft Windows 7、Windows Vista、Windows XP SP2 以上
メモリ　　：512M
VGAカード：DirectX 9.0以上（※1参照）
その他　　：DirectX 9.0以上

※1　現在のDirectX9.0搭載のVGAカード一覧

NVIDIA　Geforce FXseries, Geforce 6series, Geforce 7series, Geforce 8series, Geforce 9series, Geforce 200series　など
http://en.wikipedia.org/wiki/Comparison_of_Nvidia_graphics_processing_units

ATI　Radeon R300series, Radeon R400series, Radeon R500series, Radeon R600series, Radeon R700series, Radeon HD 3xxx IGPseries, Mobility Radeonseries (9500 above), Mobility Radeon Xseries, Mobility Radeon HDseries, or FireGL Vseries　など
http://en.wikipedia.org/wiki/Comparison_of_ATI_graphics_processing_units

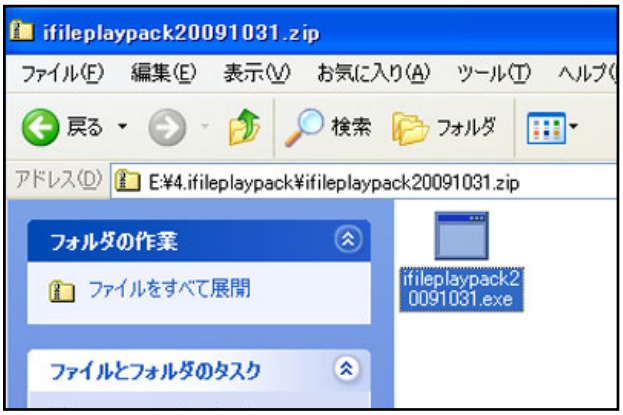
SiS　SiS 67Xseries, or SiS 77Xseries　など
http://www.sis.com/support/support_compare.htm

Intel　91Xseries, 94Xseries, 96Xseries, G3Xseries, or G4Xseries　など
http://en.wikipedia.org/wiki/Intel_GMA

3 バックアップデータの再生

① バックアップデータを用意します。
USBメモリスティックへのバックアップ方法はP33の「バックアップ手順」をご覧ください。

② 付属のCDからバックアップデータの再生に必要なソフトウェアをPCにインストールしてください。

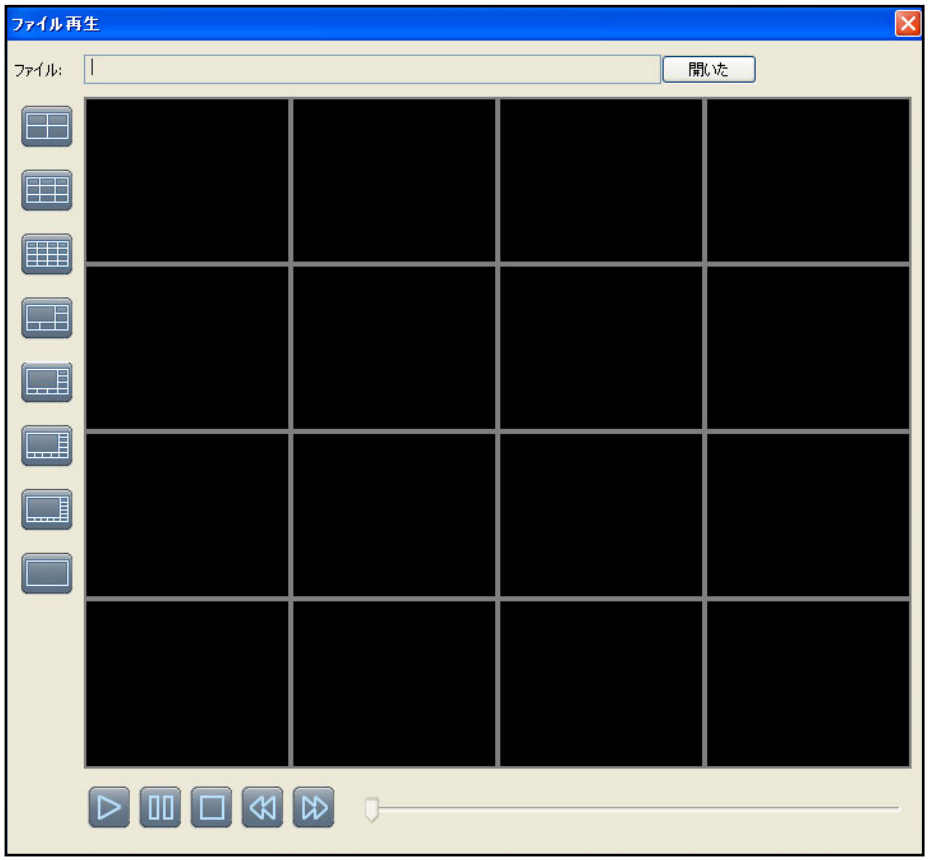


ブラウザのリンク

「Download Record File Player
(Windows XP , Windows Vista ,Windows 7)」

からダウンロードしてインストールすることもできます。

③ インストールが終了して、フォルダを開くと下図画面が現れます。



④ バックアップデータの入ったUSBメモリスティックをPCに差しこみ、画面上部の「開く」をクリックして、外部リムーバブルディスク（USBメモリスティック）を選んで再生してください。

第７章　スペック一覧

1. ビデオ再生		
入力レベル		1.0 Vp-p±10% Composite, 75ΩBalanced
再生速度（FPS）	NTSC	120fps(4CH)
再生解像度	NTSC	720(H) X 480(V)
モニター出力		2Vp-p Composite, 75ΩBalanced
2. 録画		
圧縮方式		H.264
録画速度（FPS）		表7-1　参照
録画解像度	NTSC	720 X 480, 720 X 240, 360 X 240
画質	各チャンネル独立	Below Basic/ Basic/ Normal/ High/ Highest
スケジュール録画		分単位設定
録画モード		マニュアル/イベント（モーション・センサー）/スケジュール
録画方式		通常録画、イベント録画時、FPSと画質を分けて設定可能
3. SATA機器		
容量	内部保存	HDD
	外部保存	未対応
タイプ		SATA/SATAⅡ互換
4. アラーム		
センサー入力		4(4CH)
ループアウト		1 Relay out
モーション		カメラ毎に利用可/マルチ検知レベル
5. 接続		
ビデオ入力		4ポート (4CH)
ビデオ出力		BNC 2ポート, VGA 1ポート
音声入力		RCA 1 CH
音声出力		RCA 1 CH
USB 2.0		USBメモリスティック, USBタッチパネル
USB 1.1		USBマウス
コントローラー		IRリモートコントローラー
外部 I/O		1 RS-485, 4(4CH) センサー入力, 1リレー出力
イーサネット		1 RJ45コネクタ, 10/100 Mbps

6. 電気		
電源		DC 12V / 3A
7. 動作環境		
動作温度		5℃～+40℃
動作湿度		90%以下
8. 寸法		
外形寸法		225(W) x 264(D) x 47(H) mm
重量		1.3 kg（HD除く）
9. バックアップ		
バックアップ	USBメモリ	ビデオ、音声
	ネットワーク	ビデオ、音声
10. 検索、再生		
検索タイプ		イベント検索/タイムサーチ
再生速度		120 FPS
11. 遠隔監視		
モニター環境		ウェブ / クライアントソフト(CMS)
最大クライアント数		マルチクライアント対応(5クライアント　アクセス可能)
12. その他		
OS		Linux含む
マルチタスク	ペンタプレックス	Live、Record、Playback、Network、Backup
コントロール機器		全面キー / リモートコントロール コントロール (オプション) バーチャルキーボード / マウス / AP Software
PCビューワ		PCでのHDD直接視聴可能
イベント･メンバーリスト		10000

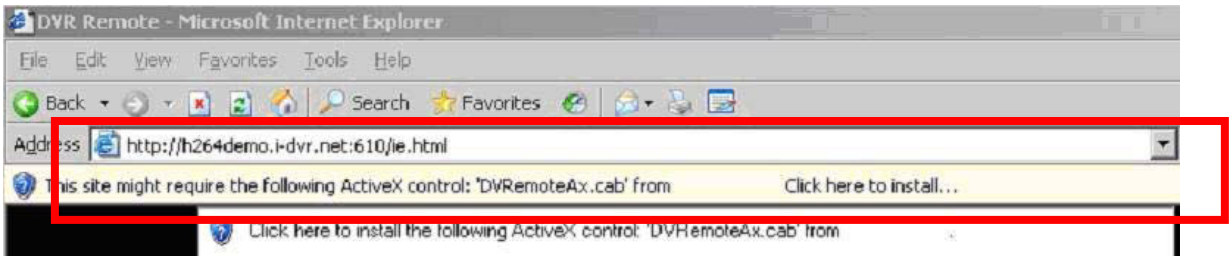
表 7-1

録画スピード（各チャンネル独立設定）	NTSC	360 x 240	120fps / 4CH
		720 x 240	120fps / 4CH
		720 x 480	60fps / 4CH
圧縮方式			H.264

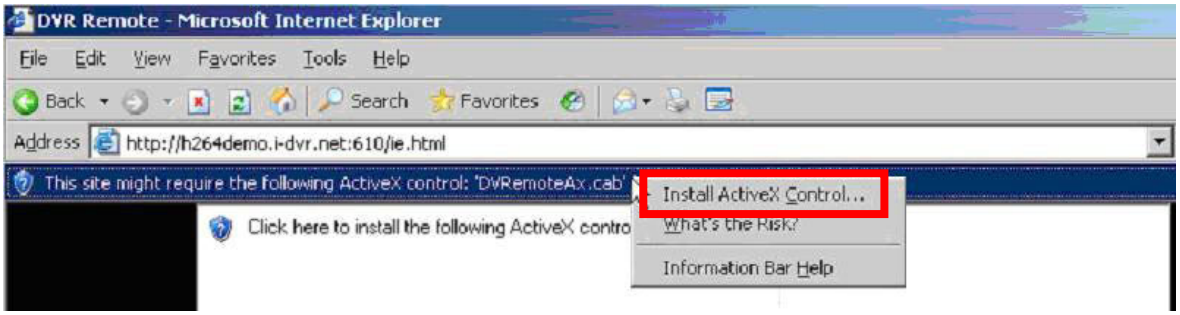
付録　IE ActiveX コントロールのインストール

遠隔監視にIEブラウザを初めて使用する際、IE　ActeveXコントロールのダウンロードが必要になります。

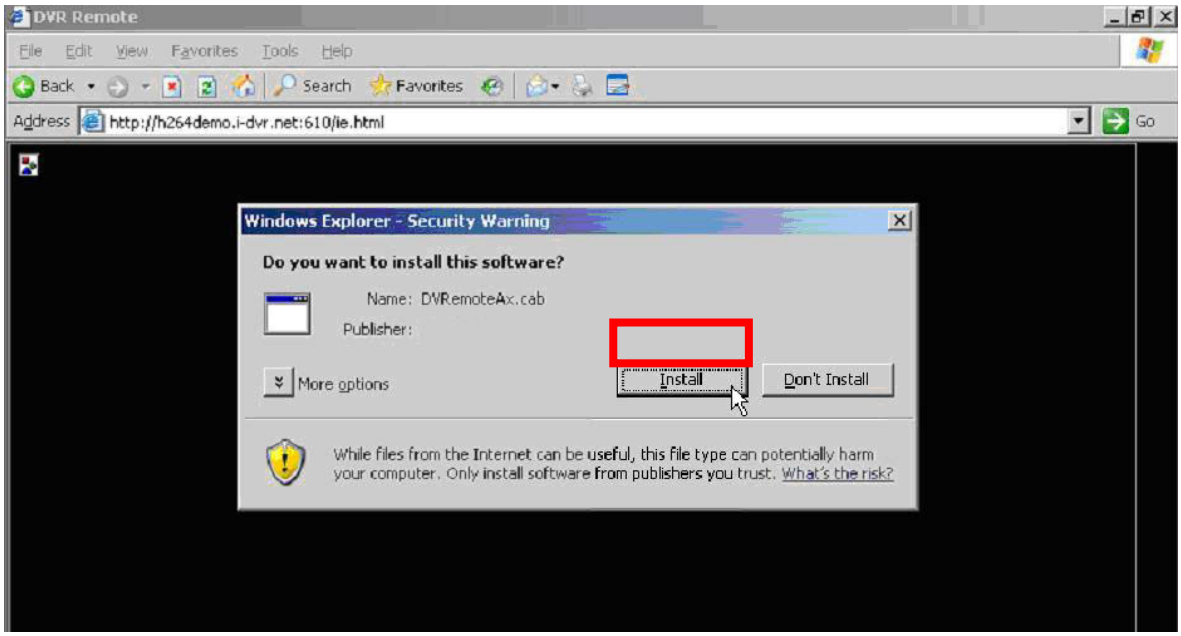
1. IEでの遠隔監視を初めて行う際、ActiveXのインストールを行うかどうかのメッセージが情報バーに表示されます。



2. 情報バーをクリックして、ActiveXコントロールのインストールをクリックします。

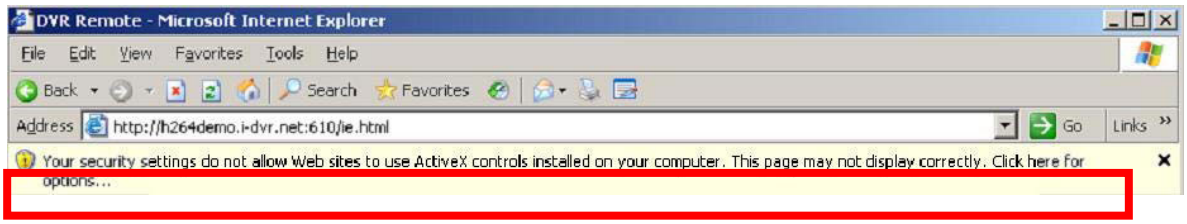


3. 「このソフトウェアをインストールしますか？」というダイアログが表示されたら、「インストールする」をクリックします。

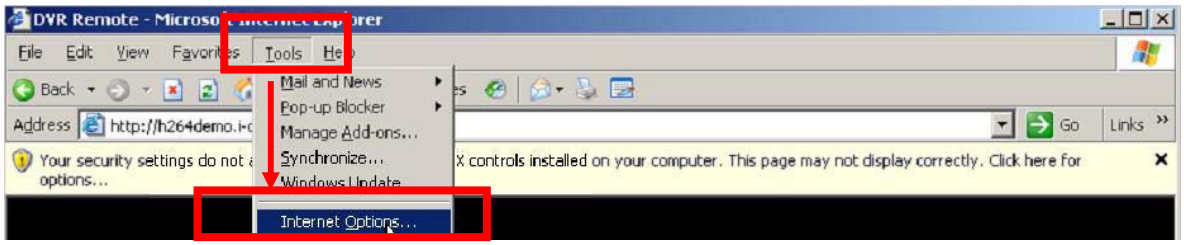


4. インストールが完了したらIEでの直接監視が表示されるようになります。

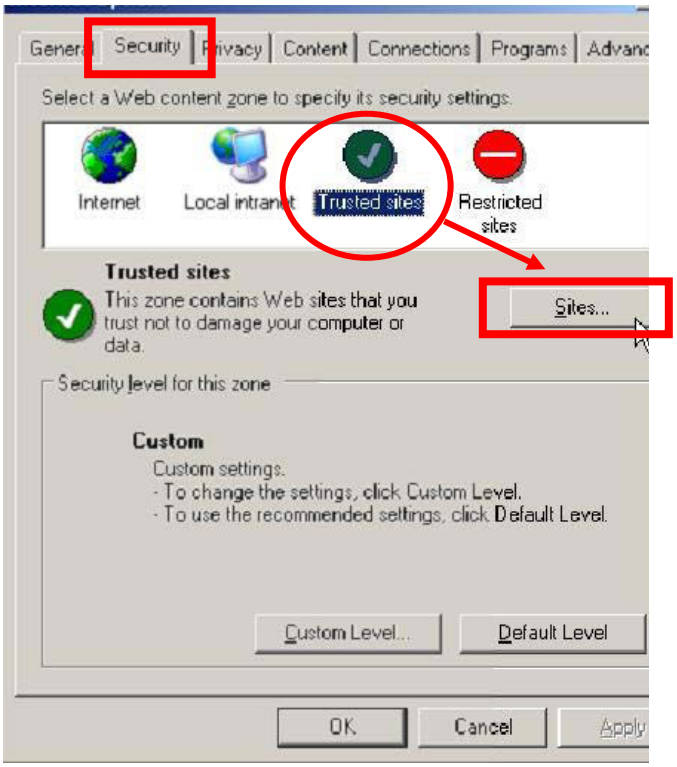
5. ログイン時に「セキュリティの設定により、Webサイトによる、このコンピュータにインストールされているActiveXコントロールの実行は許可されていません。」というメッセージが表示されたら、次の方法で解決してください。



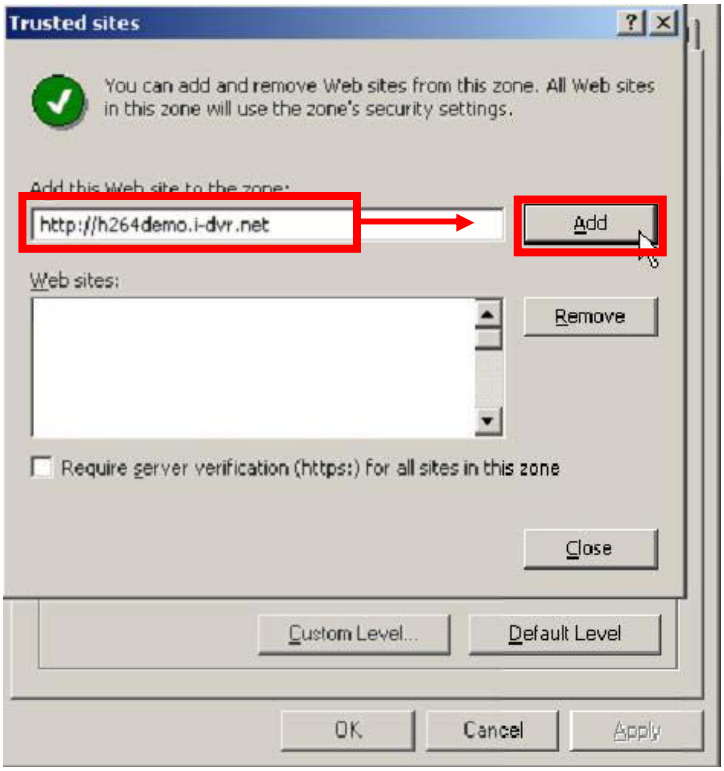
6. ツールバーの「ツール」→「インターネットオプション」



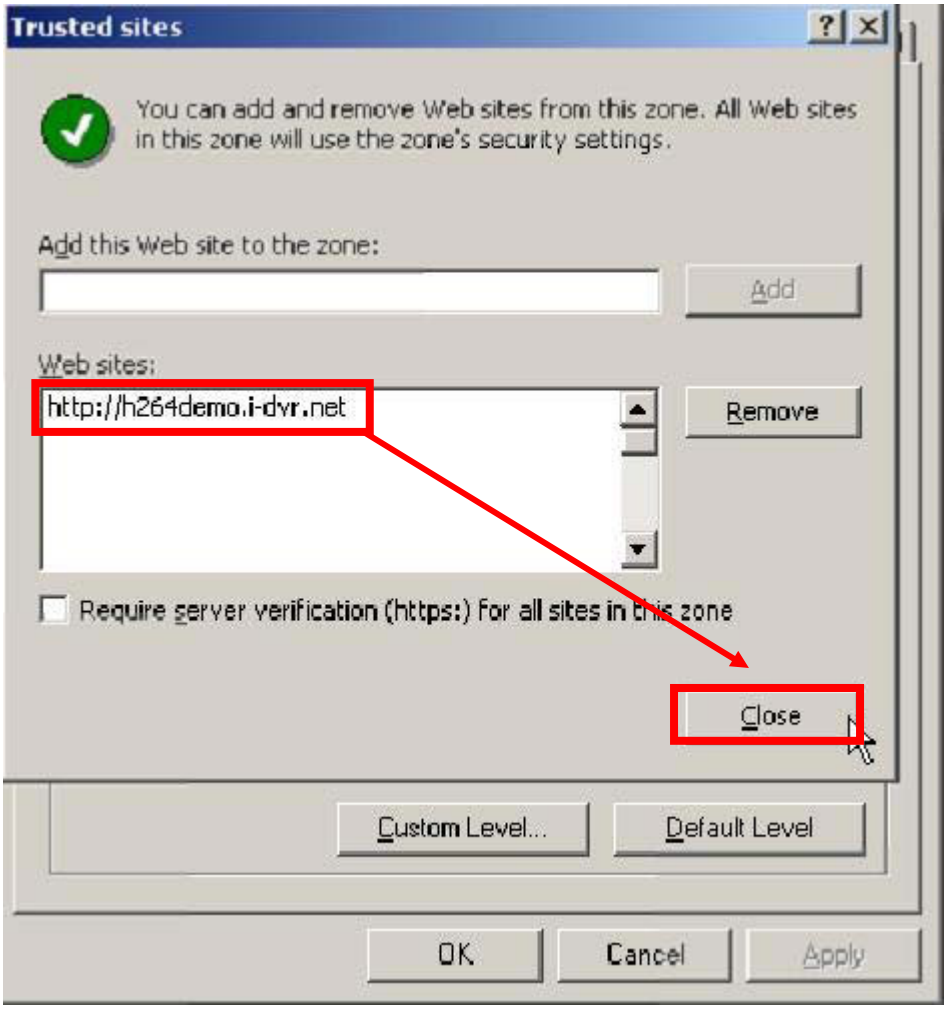
7　「セキュリティ」タブ　→　「信頼済みサイト」　→　「サイト」ボタン



8　DVRアドレスを入力して、「追加」ボタンをクリック（図はデモンストレーション用のアドレスです。）



9.「Webサイト」リストに新規追加されます。「閉じる」をクリック



10. IEウィンドウに戻り、「F5」ボタンを押してください。